

**教育委員会  
学校教育部  
教育総務課**

1 教育委員会

- (1) 開催状況 (平成31年4月～令和2年3月)  
定例会 12回 臨時会 3回 協議会 12回
- (2) 議案の提出状況 45件 (予算・条例・規則・その他)
- (3) 規則および告示

区分	規則・規程	告示	訓令
件数	16件	13件	2件

2 教育広報

教育行政の基本方針及び重点施策の理解と協力を得るため、市広報紙「伸びゆく三田」教育コラム「きらり教育」を掲載

- (1) 掲載号 4月15日、6月15日、8月15日、10月15日、12月15日、2月15日  
(年6回)

3 メールカー運行業務

平成4年度から教育委員会事務局と学校その他教育機関と文書等の集配業務を委託し実施している。

- (1) 委託費 286,684円 (阪神教育事務所)  
※市内メールカーについては、令和元年度から直営による運行。
- (2) 運行箇所  
・市内公立小学校、中学校、幼稚園、保育園及びその他教育機関  
計44箇所  
・阪神教育事務所(西宮) 1箇所
- (3) 運行回数  
毎週月曜日から金曜日まで1日1回週5回運行  
但し、祝日、8月13日～15日及び12月29日～1月3日は除く。

4 特別支援学校等児童生徒送迎業務

特別支援学校及び特別支援学級センター校廃止に伴う移行期間中において富士小学校に通学する児童生徒を各乗降場所と学校間に公用車(ともだち号)を使用し送迎する業務である。

- (1) 運行方法 委託業務(昭和61年度から)
- (2) 委託費 15,602,345円
- (3) 運行台数5台(富士小学校1台、特別支援学校4台)
- (4) 乗車人員14名(富士小学校3名、特別支援学校11名)

5 学校管理運営費の執行状況（人件費を含み施設工事・営繕を除く）

区 分	決 算 額 (千円)		摘 要
小学校20校	362,053	196,032	管理費（消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等）
		166,021	人件費（賃金、共済費）
中学校8校	127,789	93,730	管理費（消耗品、光熱水費、教材備品、図書費等）
		34,059	人件費（賃金、共済費）
特別支援学校 1校	23,915	7,260	管理費（消耗品、光熱水費等、教材備品、図書費等）
		16,655	人件費（賃金、共済費）

6 市費負担職員に関すること

(1) 職員数（令和元年5月7日現在）

（単位：人）

区 分	正規職員	再任用職員	嘱託員	臨時職員	合 計
事務局・教育機関	53	2	25	56	136
小・中学校	7	7	7	113	134
合 計	60	9	32	169	270

7 県費負担教職員に関すること

(1) 職員数（平成31年4月9日現在）

ア 小学校

（単位：人）

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
三田小学校	39	松が丘小学校	13
三輪小学校	23	すずかけ台小学校	22
志手原小学校	13	狭間小学校	17
藍小学校	14	富士小学校	24
本庄小学校	15	あかしあ台小学校	29
広野小学校	14	弥生小学校	13
小野小学校	11	つつじが丘小学校	15
高平小学校	13	けやき台小学校	43
母子小学校	9	学園小学校	14
武庫小学校	28	ゆりのき台小学校	44
		小学校合計	413

## イ 中学校

(単位：人)

学 校 名	教 職 員 数	学 校 名	教 職 員 数
長 坂 中 学 校	15	けやき台中学校	35
上 野 台 中 学 校	17	富 士 中 学 校	21
狭 間 中 学 校	26	藍 中 学 校	21
八 景 中 学 校	33	ゆりのき台中学校	37
		中 学 校 合 計	205

## ウ 特別支援学校

(単位：人)

学 校 名	教 職 員 数		教 職 員 数
ひまわり特別支援学校	27	特別支援学校合計	27

## 8 学校施設等の概要

(1) 敷地及び校舎の面積（令和2年4月1日現在）

## ア 小学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
三 田 小 学 校	16,751	6,180		6,180
三 輪 小 学 校	13,157	4,736		4,736
志 手 原 小 学 校	16,367	2,255		2,255
藍 小 学 校	18,194	2,978		2,978
本 庄 小 学 校	15,030	2,517		2,517
広 野 小 学 校	14,185	4,468		4,468
小 野 小 学 校	20,016	2,537		2,537
高 平 小 学 校	15,909	3,019		3,019
母 子 小 学 校	9,293	1,271		1,271
武 庫 小 学 校	23,006	6,123		6,123
松 が 丘 小 学 校	23,112	4,084		4,084
す ず かけ 台 小 学 校	31,902	5,770		5,770
狭 間 小 学 校	27,556	5,980		5,980
富 士 小 学 校	29,484	4,644		4,644
あ かし あ 台 小 学 校	30,655	6,418		6,418
弥 生 小 学 校	26,674	5,199		5,199
つ つ じ が 丘 小 学 校	27,620	7,721		7,721
け や き 台 小 学 校	27,728	5,940		5,940
学 園 小 学 校	22,268	758	3,455	4,213
ゆ り の き 台 小 学 校	27,840	7,143		7,143
小 学 校 合 計	436,747	89,741	3,455	93,196

## イ 中学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄 筋 鉄 骨	木 造	計
長 坂 中 学 校	30,410	3,963		3,963
上 野 台 中 学 校	24,129	3,988		3,988
狭 間 中 学 校	30,692	6,360		6,360
八 景 中 学 校	36,660	5,953	33	5,986
け や き 台 中 学 校	29,921	6,103		6,103
富 士 中 学 校	31,403	4,538		4,538
藍 中 学 校	31,067	5,607		5,607
ゆ り の き 台 中 学 校	40,777	7,508		7,508
中 学 校 合 計	255,059	44,020	33	44,053

## ウ 特別支援学校

(単位：㎡)

校 園 名	敷 地 面 積 (㎡)	校 舎 面 積 (㎡)		
		鉄筋鉄骨	木 造	計
ひまわり特別支援学校 (小学部)	—	741		741
ひまわり特別支援学校 (中・高等部)	—	1,337		1,337
特 別 支 援 学 校 合 計	—	2,078		2,078

※敷地面積は、小学部は富士小学校と、中・高等部は富士中学校と共有

## (2) 屋内運動場建築面積及びプール面積

## ア 小学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
三 田 小 学 校	919	375	低学年プール有
三 輪 小 学 校	919	375	低学年プール有
志 手 原 小 学 校	793	375	低学年プール有
藍 小 学 校	680	375	低学年プール有
本 庄 小 学 校	792	375	低学年プール有
広 野 小 学 校	906	298	低学年プール有
小 野 小 学 校	797	284	低学年プール有
高 平 小 学 校	919	299	低学年プール有
母 子 小 学 校	794	180	低学年プール有
武 庫 小 学 校	934	375	低学年プール有
松 が 丘 小 学 校	913	375	低学年プール有
す ず かけ 台 小 学 校	877	375	低学年プール有
狭 間 小 学 校	928	375	低学年プール有
富 士 小 学 校	919	375	低学年プール有
あ か し あ 台 小 学 校	1,049	375	低学年プール有
弥 生 小 学 校	955	375	低学年プール有
つ つ じ が 丘 小 学 校	1,023	375	低学年プール有
け や き 台 小 学 校	1,023	375	低学年プール有
学 園 小 学 校	919	375	低学年プール有
ゆ り の き 台 小 学 校	1,181	375	低学年プール有
小 学 校 合 計	18,240	7,061	

## イ 中学校

(単位：㎡)

学 校 名	屋内運動場 (㎡)	武道場 (㎡)	プール面積 (㎡)	備 考
長 坂 中 学 校	978	197	325	
上 野 台 中 学 校	981	200	325	
狭 間 中 学 校	1,024	200	325	
八 景 中 学 校	1,034	200	325	
け や き 台 中 学 校	1,145	197	325	
富 士 中 学 校	1,222	199	325	
藍 中 学 校	1,102	196	325	
ゆ り の き 台 中 学 校	1,222	200	325	
中 学 校 合 計	8,708	1,589	2,600	

(3) 教育施設の整備状況（主なもの）（令和元年度）

事業名	概要
小学校空調設備設置工事	市内全小学校（20校）の普通教室の空調設備設置工事
けやき台中学校大規模改修工事（I期）	けやき台中学校大規模改修工事

## 学校教育課

- 1 基本理念 子どもの夢と未来が輝くまち さんだ
- 2 めざす子ども像 自分が好き、人が好き、このまちが好き、  
夢に向かって歩むさんだっ子
- 3 基本目標
  - (1) 未来を創造し、心豊かに生きる子どもの育成に取り組めます
  - (2) 安全・安心で魅力ある学校づくりを推進します
  - (3) 人をつなぎ、まち（地域）全体で子どもの学びと成長を支えます
- 4 施策の内容
  - (1) 変化の激しい時代を生き抜く力を育む教育の推進
    - ア社会的自立に向けたキャリア教育の推進
    - イグローバル化に対応した教育の推進
  - (2) 幼児期の教育の充実
    - ア自立と協同の態度を育む幼児教育の推進
    - イ幼児教育に関する多様なニーズへの対応
  - (3) 「確かな学力」の育成
    - ア主体的に学ぶ子どもの育成
    - イ育ちと学びをつなぐ教育の推進
  - (4) 「豊かな心」の育成
    - ア規範意識や道徳性を育む教育の推進
    - イ「共生」の心を育む教育の充実
    - ウ豊かな人間性と社会性を育む体験活動の充実
  - (5) 「健やかな体」の育成
    - ア体力向上の取組の推進
    - イ食育・健康教育・安全教育の充実
  - (6) 一人一人が大切にされる教育・支援の充実
    - ア特別支援教育の推進
    - イ児童生徒への支援・相談体制の充実
    - ウ教育の機会均等の確保と保護者負担の軽減
  - (7) 信頼される学校づくりの推進
    - ア学校組織力の向上
    - イ教職員の資質向上
  - (8) 教育環境の整備・充実
    - ア時代の変化に対応した教育環境整備
    - イ学校施設等の整備・充実、安全体制の確保
    - ウ教職員が子ども一人一人に向き合うための環境整備

- (9) 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりの推進
  - ア学校・家庭・地域の連携と協働による育成活動の推進
  - イ家庭・地域の教育支援
- (10) 「学び」が活かせる環境づくりの推進
  - ア学習成果を活かす仕組みづくりの推進
  - イ多様な学習資源の活用

5 学校運営にかかる指導・助言に関すること

(1) 校長会

教育長を中心に、緊急かつ重要な問題の協議及び通知通達の指導を行う。また、小・中・特別支援学校教頭会において連絡協議を行う。

校長会 12回実施（毎月）

教頭会 1回実施（4月）

(2) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

○研修等

研修・講座名	年間 実施回数	のべ 参加者数
三田市生徒指導研修会	1回	466名
学校園所連携推進に係る連絡会	1回	70名
国際理解教育担当者研修会	1回	29名
食育担当者会及び研修会	1回	42名
人権教育担当者研修会	1回	62名
教育相談担当者研修会・子どものサポーター研修会	1回	42名
スクールカウンセラー研修会	1回	13名

(3) 研修事業補助

○小学校

学年別人権研修会

○中学校

生徒指導研修

6 教育内容に関すること

(1) あすなろ教室

・・・不登校児童生徒に対する再登校のための援助

○開設時間：午前9時～午後5時（月曜日～金曜日）

○開設場所：青少年育成センター内

○通級児童生徒数：14名

○臨床心理士によるカウンセリングの実施 週2回（カウンセラー2名）

○カウンセリング相談件数・相談者数 160件・217名／年（延べ）

(2) スクールカウンセラー

児童生徒の問題行動等の解決に資するため、児童生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する「スクールカウンセラー」を全中学校及び小学校9校、特別支援学校1校に配置。

- 配置状況：年間15回（1日6時間）小学校1校、特別支援学校1校
- 年間20回（1日6時間）小学校1校
- 年間25回（1日6時間）小学校1校
- 年間30回（1日6時間）小学校1校
- 年間35回（1日6時間）中学校8校、小学校5校

○相談件数：3890件／年（延べ）

○研修会・講演会実施回数：27回／年

(3) トライやる・ウィーク推進事業

地域や自然の中で様々な体験活動を実施することにより、地域に学び、自分を見つめ、他人を思いやる心情を育てると共に、自律性を高め「生きる力」を育む。

実施校名	実施期間	参加生徒数	事業所数
長坂中学校	6 / 3 ~ 6 / 7	32名	23カ所
上野台中学校	5 / 27 ~ 5 / 31	46名	29カ所
狭間中学校	5 / 27 ~ 5 / 31	108名	63カ所
八景中学校	6 / 3 ~ 6 / 7	158名	81カ所
けやき台中学校	5 / 27 ~ 5 / 31	154名	69カ所
富士中学校	6 / 3 ~ 6 / 7	81名	40カ所
藍中学校	5 / 27 ~ 5 / 31	49名	30カ所
ゆりのき台中学校	6 / 3 ~ 6 / 7	204名	74カ所
ひまわり特別支援学校	6 / 3 ~ 6 / 7	1名	1カ所

(4) 学校元気アップ共育事業

各学校が教育目標の実現をめざすため、地域人材や外部人材を活用した農業体験や福祉体験、芸術文化体験などの体験活動や言語活動、環境学習などを充実したり、オープンスクールや情報発信することで、活力にあふれた地域に信頼される学校づくりを推進する。

○オープンスクール開催回数

小学校136回・中学校43回、特別支援学校6回

(5) コミュニティ・スクール推進事業

三田型コミュニティ・スクールを推進し、学校の運営に保護者、地域住民が参画できる仕組みづくりを進める。

設置年度 平成25年度：ゆりのき台小

平成26年度：三田小、長坂中

平成27年度：武庫小、弥生小

平成28年度：あかしあ台小、けやき台中

平成29年度：高平小、狭間小、すずかけ台小、学園小、富士中

平成30年度：母子小、つつじが丘小、狭間中

令和元年度：三輪小、小野小、松が丘小、富士小、げやき台小、  
上野台中、八景中

(6) 学校評議員制度

開かれた学校づくりと学校の自主的・自律的な教育活動を推進するため、各校に5名以内の学校評議員を置く。

設置年度 令和元年度：藍中、ゆりのき台中、志手原小、藍小、本庄小、広野小、  
ひまわり特別支援

(7) 生徒指導対策事業

いじめ、不登校、問題行動等生徒指導上の課題を解決していくため、学校の組織体制づくり、研修等を実施する。また、スクールカウンセラーや福祉の視点でサポートするSSW等の配置など、児童生徒や保護者の相談・支援体制をつくる。

ア 「三田市いじめ防止基本方針」及び各学校における「学校いじめ防止基本方針」の推進

イ 「三田市いじめ問題対策連絡協議会」及び「三田市いじめ問題対策ネットワーク会議」の開催

ウ 「いじめに関する生活アンケート」の実施（各学期1回）

エ 各学校の「生徒指導委員会」「学校いじめ対応チーム」による組織的な対応

オ 「生徒指導学校支援チーム」の派遣

(8) 中学校部活動の振興

生徒の健全育成を図るため、部活動を学校教育の一部と位置づけ振興する。

ア 部活動振興、中学校体育連盟分担金、音楽連盟負担金

7 在日外国人学校就学補助金

三田市内に居住し、在日外国人学校の初級・中級学校に在籍する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減し、教育の機会均等を図る。

区 分	児童生徒数	保護者への支給額
在日外国人学校就学補助金	0人	0円

8 委員会・協議会に関すること

(1) 三田市在住外国人教育推進委員会

「三田市在住外国人教育基本方針」の実施について検証し提言する。

※令和元年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(2) 不登校等問題対策委員会

不登校児童生徒の総合的な研究、検討ならびに直接的な指導の在り方等について研究を推進する。（1回開催）

※2回予定のうち1回は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

(3) トライやる・ウィーク推進協議会

各構成団体の協力体制についての協議及び事業実施に向けての啓発協力依頼活動を行う。（1回開催）

(4) 三田市生徒指導等問題対策委員会

三田市で発生したいじめ・暴力行為を含む問題行動事案について検証するとともに、今後の三田市の生徒指導のあり方について協議する。(2回開催)

ア 提言書「審議のまとめ」、「三田市いじめ防止基本方針」に基づく生徒指導の在り方について検証、協議する

9 P T A 連合会研修に関すること

(1) 事業名 P T A 合同研修会、P T A 実践発表会

(2) 各講座内容・参加人数等

ア 広報紙講座 <50名参加>

日時・場所

令和元年5月22日(水) 於：まちづくり協働センター

内容

講演・演習 「P T A 広報紙づくりについて」

講師 神戸新聞社新聞づくり教室講師 小材 天良 氏

イ 人権講演会 <60名参加>

日時・場所

令和元年11月24日(日) 於：まちづくり協働センター

内容

講演 「いじめ防止講演会 ミニライブ」

講師 シンガーソングライター つっちょ氏

ウ P T A 実践発表会 <150名参加>

日時・場所

令和2年1月19日(日) 於：まちづくり協働センター

内容

(ア) 広報誌コンクール表彰・展示

(イ) 実践発表：藍中学校P T A、志手原幼小P T A、広野校園育友会

(ウ) 講演 「子どもの「やる気」引き出し術～家庭でできる簡単！メンタル強化法～」

講師 メンタルヘルスプロデューサー 川谷 潤太 氏

10 市立学校児童・生徒数(令和2年3月31日現在)

(1) 小学校

(単位：名)

学 校 名	学級数	児 童 数		計
		男	女	
三田小学校	28	367	328	695
三輪小学校	15	174	215	389
志手原小学校	7	34	23	57
藍小学校	8	57	36	93

本庄小学校	9	33	29	62
広野小学校	9	96	90	186
小野小学校	6	26	19	45
高平小学校	7	53	53	106
母子小学校	3	7	6	13
武庫小学校	21	295	273	568
松が丘小学校	7	62	67	129
すずかけ台小学校	16	203	214	417
狭間小学校	11	116	109	225
富士小学校	17	217	176	393
あかしあ台小学校	20	267	253	520
弥生小学校	7	71	63	134
つつじが丘小学校	9	99	98	197
けやき台小学校	30	423	419	842
学園小学校	9	100	80	180
ゆりのき台小学校	32	498	460	958
計20校	271	3,198	3,011	6,209

(2) 中学校

(単位：名)

学校名	学級数	生徒数		計
		男	女	
長坂中学校	5	57	63	120
上野台中学校	6	65	61	126
狭間中学校	13	173	197	370
八景中学校	16	235	254	489
けやき台中学校	17	291	266	557
富士中学校	9	148	115	263
藍中学校	9	90	75	165
ゆりのき台中学校	19	323	285	608
計8校	94	1,382	1,316	2,698

(3) 特別支援学校

(単位：名)

学校名	学級数	児童生徒数		計	
		男	女		
ひまわり 特別支援学校	小学部	3	5	3	8
	中学部	2	2	2	4
	高等部	2	1	2	3
計1校	7	8	7	15	

## 教育支援課

### 1 特別支援教育の推進に関すること

LD・ADHD等発達障害を含む障害のある幼児児童生徒に対する指導や支援体制づくり等、より一層の特別支援教育の充実を図る。

#### (1) 相談事業

巡回相談（指導補助員配置校）（希望型）（自立活動研修）157件

特別支援教育相談 93件

就学相談 112件

#### (2) 教育支援事業

市立ひまわり特別支援学校等療法士派遣

学校生活支援教員配置：小学校拠点4校・巡回10校、中学校拠点2校・巡回5校

#### (3) 交流体験チャレンジ事業

ひまわりサマーキャンプ 7月17・18日 於：しあわせの村

#### (4) サポートファイル活用推進

保幼小中学校計534名

#### (5) その他

特別支援学級訪問指導、コーディネーター等ネットワーク会議、教育相談支援チーム連絡会他

### 2 教職員の指導・助言に関すること

#### (1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

##### ア 研修等

研修・講座名	年間 実施回数	のべ 参加者数
学校保健研修会	1回	38名
指導補助員研修会	3回	38名
特別支援教育研修講座 コンサルテーション研修講座	3回	31名
指導補助員配置校に係る特別支援教育コーディネーター・指導補助員研修会	1回	29名
特別支援教育研修講座 コーディネーター研修講座	3回	22名
特別支援教育研修講座 選択課題別研修	15回	208名
特別支援教育研修講座 授業・保育実践研修講座及び教育相談実地研修講座	2回	18名
特別支援教育研修講座 基礎研修講座	2回	52名

#### (2) 研修事業補助

##### イ 小学校

特別支援教育研修会、養護教諭研修会

##### ウ 中学校

特別支援教育研究会、養護教諭研修会

### 3 遠距離通学費補助

三田市立小学校及び中学校の児童生徒等について、通学が著しく困難である者に対して通学費を補助し、学校教育の円滑な運営と保護者負担の軽減を図る。

区 分		校数	人数	補助金額	備考
通学定期代	小学校	5校	159名	5,405,020円	
	中学校	1校	94名	10,018,280円	
通学用品費	小学校	2校	6名	19,881円	上限5,000円
	中学校	3校	81名	451,342円	上限10,000円
合 計		11校	340名	15,894,523円	

### 4 就学援助費及び就学奨励費

義務教育の円滑な実施を図るため、経済的な理由によって就学困難な児童及び生徒に対して、就学援助費を支給する。また、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、特別支援教育就学奨励費を支給する。

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費	小学校	459(530)名	26,139,973円
	中学校	248(275)名	21,390,697円
計		707(805)名	47,530,670円

人数：3月末認定者数、( )内4～7月期及び8～3月期の実認定者数合計

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
就学援助費 (入学準備金)	小学校	58名	2,354,800円
	中学校	71名	3,365,400円
計		129名	5,720,200円

区 分		児童生徒数	保護者への支給額
特別支援教育 就学奨励費	小学校	109名	3,087,727円
	中学校	30名	1,256,776円
計		139名	4,344,503円

### 5 高等学校等入学支援金

高等学校等への入学に伴う費用の一部を支給することにより、経済的理由のため就学が困難であると認められる者の自立と進学を促進するため、高等学校等入学支援金（給付型・返還不要）を支給する。

区分	生徒数	保護者への支給額
高等学校等入学支援金	22名	1,390,400円

※ 三田市奨学金（貸付型・返還要）は平成29年度で貸付終了

## 6 学校保健に関すること

(単位：名)

検診名等	対象者等	実施人員	実施機関
就学時健康診断	小学校1年生入学予定の幼児	1, 017	学校医
心臓検診	小・中・特別支援学校1年生 (心電図)	1, 920	三田市医師会
心臓検診	二次検診	82	指定の病院
内科検診 (脊柱検査含む)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 904	学校医
結核検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員(問診票)	8, 904	学校医
	特別支援学校高等部1年生(エ ックス線撮影)	1	指定の病院
	二次検診	11	
歯科検診 (年2回)	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 904	学校歯科医
尿検査	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 866	検査機関
	二次検診	180	
眼科検診	小・中・特別支援学校児童生徒 全員	8, 904	学校医
耳鼻咽喉科検診	小・中・特別支援学校(小学 1・3・5年生、中学1年生、 高等部1年生)	3, 973	学校医
整形外科検診	特別支援学校全員	15	学校医

## 7 委員会・協議会に関すること

## (1) 教育支援委員会

心身に障害を有する児童生徒に対して、適正な就学指導を行う。(8回開催)

## (2) 三田市立学校結核対策委員会

学校における今後の結核対策について、児童生徒への感染防止対策、感染者及び発病者の早期発見、早期治療対策、患者発生時の対応等を図る。(1回開催)

## 教育研修所

- 1 基本理念 子どもの夢と未来が輝くまち さんだ
- 2 めざす子ども像 自分が好き、人が好き、このまちが好き、  
夢に向かって歩むさんだっ子
- 3 基本目標
  - (1) 自ら学び、心豊かに生きる子どもの育成に取り組めます
  - (2) 子どもが安全で安心して学べる環境づくり・学校づくりを推進します
  - (3) まち（地域）全体で子どもの学びと成長を支えます
- 4 重点目標 「生きる力」を育む三田の教育～確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成～
  - (1) 幼児期の教育の充実
    - ア 自立と協同の態度を育む幼児教育の推進
    - イ 幼児教育から小学校教育を見通した教育の推進
    - ウ 幼児教育に関する多様なニーズへの対応
  - (2) 「確かな学力」の育成
    - ア 「楽しい、わかる、のびる」授業の展開
    - イ 特色ある学習活動の推進
    - ウ 育ちと学びを支える校種間連携の推進
  - (3) 「豊かな心」の育成
    - ア 規範意識や道徳性を育む教育の推進
    - イ 「共生」の心を育む教育の充実
    - ウ 豊かな人間性と社会性を育む体験活動の充実
  - (4) 「健やかな体」の育成
    - ア 体力向上の取組の推進
    - イ 食育・健康教育の推進
  - (5) 多様な教育的ニーズに応じた教育の推進
    - ア 特別支援教育の推進
    - イ 児童生徒への相談・支援体制の充実
  - (6) 信頼される学校づくりの推進
    - ア 学校組織機能の強化
    - イ 教職員の資質向上
  - (7) 教育環境と教育条件の整備
    - ア 学校施設等の整備・充実、安全体制の確保
    - イ 学校給食の充実
    - ウ 教職員が子ども一人一人に向き合う環境づくり
    - エ 教育の機会均等の保障と保護者負担の軽減
  - (8) 学校・家庭・地域の連携と協働
    - ア 地域ぐるみで学校を支援する仕組みづくりの推進
    - イ 地域で支える子どもの育成活動の推進

(9) 家庭・地域の教育力の向上

ア 家庭・地域の教育支援

(10) 「学び」が活かせる環境づくりの推進

ア 学習成果を子どもの教育に活かす仕組みづくりの推進

イ 地域の学習資源の活用

5 教職員の指導・助言に関すること

(1) 資質向上事業

学校教育において、本市の実態に応じた実践を進めるため研修機会を提供し教職員の資質向上を図る。

ア 研修等（令和2年3月実施予定研修は新型コロナウイルス感染症拡大防止対応により全て中止）

研修・講座名	年間実施回数	のべ参加者数
初任者研修校外研修（設置者別研修）	3回	24名
教職員全体研修会	1回	650名
小学校外国語教育夏季研修会	18回	390名
校園長・教育委員研修会	1回	45名
教頭研修会	1回	29名
主幹教諭研修会	1回	49名
ミドルリーダー研修 教務主任研修会	1回	31名
拠点校指導員研修会	1回	5名
2・3年次教員研修に係る共通研修	2回	31名
研究推進担当教員研修会及び情報教育担当者研修会	1回	50名
若年者事務職員研修会	1回	12名
教科書事務執行管理システムに係る実務研修会	1回	19名
小学校外国語教育推進リーダー研修会（小学校担当者会）	4回	92名
「三田の英語教育」研修会（小中担当者合同研修会）（全3回の内、1回中止）	2回	56名
大学と連携した英語指導力向上事業に係る研修会	1回	33名
小学校英語専科教員連絡会	3回	6名
小学校外国語活動サポーター研修会	1回	16名
学校体育実技武道（柔道）研修会	1回	11名
平成22・25・28年度応急手当普及員受講者再講習会	3回	46名
道徳教育研修会	1回	38名
学校指導員研修会（全2回の内、1回中止）	1回	12名
学校司書研修会	4回	44名
学びの力サポート教員研修会	2回	4名
夏季授業づくり講座	12回	209名
夏季特別講座	3回	66名
教育研究グループ委嘱式及び全大会	1回	21名
教育研究グループ研究交流会及び学校指導員研修会	1回	65名
学校経営いろは	11回	109名
自主研修講座 外国語「STEP」	5回	98名
自主研修講座 STEP [道徳]	2回	8名
自主研修講座 STEP [情報教育]（全4回の内、1回中止）	3回	25名
ホームページ作成研修	4回	10名
通知表作成講座	2回	9名
	総参加者数	2313名

イ 三田市立学校指導員派遣事業

指導員（小・特別支援学校）：12名 派遣回数：33回

(2) 指定研究の推進

テーマに基づいた研究の活性化を図るための指導・支援

ア 奨励・・・小学校8校、中学校4校 計12校

「『対話力』を高め、仲間とつながり合える三輪っ子の育成」

「問いが生まれ、学びを深めていく姿をめざして」

「みんなが『できる』『わかる』授業をめざして」

「人とつながり、よりよい自己をめざす高平っ子」

「人と豊かに関り、なりたい自分に向けて努力する児童の育成」

「仲間と関わり合いながら、よりよく生きようとする子ども」

「“タイ”が生まれる楽しい授業」

「人とつながり主体的に学ぼうとする子どもの育成」

「不登校への対応」

「基礎・基本の知識の定着から、その知識を活用させる学習内容・学習方法の研究」

「『人権スキル』の実践力の向上」

「特別支援教育の視点を活かした、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業作り」

三輪小学校

志手原小学校

藍小学校

高平小学校

あかしあ台小学校

弥生小学校

つつじが丘小学校

学園小学校

長坂中学校

八景中学校

けやき台中学校

富士中学校

イ 指定 小学校9校、特別支援学校1校

「自ら問いを持ち、対話を通し、解決できる児童の育成」

「すべての子がわかる・できる授業づくり」

「主体的に学習に取り組み、自分の考えを表現できる子の育成」

「自ら考え、共に高まり合える子どもへ」

「問いをつなぎ主体的に学ぶ子どもをめざして」

「伝え合い、高め合いながら、学ぶ力を身につけていく子をめざして」

「気づき合い、つながり合い、よりよい生活をつくり合おうとする子どもをめざして」

「学びに向かう力を育てる」

「人とつながり、課題解決に向かう子どもをめざして」

「1人1人の豊かな生活をめざした授業づくり」

本庄小学校

広野小学校

小野小学校

武庫小学校

松が丘小学校

すずかけ台小学校

富士小学校

けやき台小学校

ゆりのき台小学校

ひまわり特別支援学校

ウ 特別指定 小学校3校、中学校1校

「豊かな人間性を育む道德教育の推進」

「子どもの深い学びを支えるつなぐ力の育成」

「主体的に楽しみながら学び合う子どもの育成」

「主体的・対話的で深い学びの充実に向けた授業の在り方に関する研究」

三田小学校

母子小学校

狭間中学校

上野台中学校

(3) 研修事業補助

ア 小学校

教員共同研究担当者会

イ 中学校

教科部会研究

## 6 教育内容に関すること

### (1) 自然学校推進事業

様々な体験活動を通して、自分で考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決する力や、生命に対する畏敬の念、感動する心、共に生きる心を育むなど、「生きる力」を育成することを目的とする。

実施校名	実施日	実施場所
三田小学校	9/17～9/21	丹波少年自然の家他
三輪小学校	9/17～9/21	
志手原・小野・母子小学校	6/29～7/3	
藍小学校	6/25～6/29	
本庄小学校	7/5～7/9	
広野小学校	9/13～9/17	
小野・母子小学校	7/11～7/15	
高平小学校	7/1～7/5	
武庫小学校	9/13～9/17	
松が丘小学校	9/13～9/17	
すずかけ台小学校	9/25～9/29	
狭間小学校	9/21～9/25	
富士小学校	9/21～9/25	
あかしあ台小学校	9/17～9/21	
弥生小学校	6/23～6/27	
つつじが丘小学校	9/17～9/21	
けやき台小学校	9/21～9/25	
学園小学校	9/21～9/25	
ゆりのき台小学校	9/13～9/17	

### (2) 英語教育推進事業

小中学校9年間、就学前から11年間を見通した「三田の英語教育」を進め、小学校英語・外国語活動、中学校英語教育において外国人英語指導助手（ALT）を起用し、児童生徒のコミュニケーション能力の素地及び基礎を養う。

ア ALT（4名）1回あたり配置時間7.25時間 年間延べ日数750日

イ JETプログラムALT（2名）1回あたり配置時間7時間 年間延べ日数304日

ウ 外国語活動サポーター（14名）1日最大6時間まで 年間総配置時数1896時間

### (3) ICT教育推進事業

小・中学校における情報教育の推進のため、学校のICT環境を整備する。

ア 中学校8校のPC室に着脱式ノートPC（各40台）を整備した。

イ 中学校8校にデジタル教科書（英語、地理・公民）を整備し、小学校20校に英語のデジタル教材を整備した。

ウ プログラミング教育やタブレットPC、ICT機器を活用した授業づくり講座を実施、授業への積極的な活用を推進した。

(4) 友好都市交流事業

友好都市である鳥羽市との交流を通じて互いの市の様子について理解を深めるとともに、友好の精神を育む。(母子小学校と神島小学校による交流)

7 委員会・協議会に関すること

(1) 三田市教科用図書選定委員会

三田市立の小学校・中学校及び特別支援学校小・中学部の教科用図書の採択に関する事務を行う。(2回開催)

## 学校給食課（学校給食センター）

### 1 主な事務事業

- (1) 学校給食用物資の購入計画及び契約  
学校給食用物資納入業者を選定し、月毎又は学期毎に価格、サンプル、原材料配合表などを検討し物資を選定して売買契約を行う。
- (2) 学校給食の栄養管理及び献立の作成  
栄養所要量と食品構成表に基づくバランスのとれた、魅力ある献立を作成する。
- (3) 学校給食用物資の発注及び検収  
市内2給食センターにおいて物資を発注するとともに、納品された物資の品質、鮮度、品温等について検収し、衛生状況の確認を行う。
- (4) 副食物の調理及び配送  
各給食センターで副食物を調理し、市立幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校及び兵庫県立特別支援学校計40校園へ配送する。
- (5) 食器食缶等の洗浄消毒及び保管  
食器食缶、調理器具等を衛生的に洗浄、消毒殺菌し保管する。
- (6) 学校給食における衛生管理  
給食センターの衛生管理及び学校園における衛生管理指導を徹底する。
- (7) 学校給食に関する指導助言  
学校園における給食指導、給食運営に関する指導助言を行う。
- (8) 学校給食費会計の経理  
児童生徒、教職員からの給食費の収納と物資代金の支払いを行う。
- (9) 学校給食運営協議会  
保護者及び学校園長代表の委員9名以内で組織し、学校給食に関する重要事項の審議及び給食物資の選定を行う。協議会を年間2回程度、物資選定を11回開催する。
- (10) 給食センターの管理運営  
給食センター施設及び設備の維持管理、運営を行う。

### 2 実施状況（令和元年5月1日現在）

- (1) 週5日間（うち、米飯給食週3.5回）完全給食を給食センターにおいて実施している。

区分	校園数 (校園)	給食数 (食)	年間規定 給食回数 (回)	1食当たり 給食費 (円)	月額 給食費 (円)
小学校 (ひまわり特別支援学校小学部含む)	21	※ 6,841	180	238	3,900
中学校 (ひまわり特別支援学校中学部・高等部含む)	9	2,954	180	275	4,500
幼稚園	10	322	140	210	2,940
兵庫県立上野ヶ原特別支援学校	1	111	180	275	4,500
計	※ 40	10,228			

- ※ ひまわり特別支援学校は1校として計上する  
 ※ 小学校食数には、給食センター食数を含む

3 給食調理施設（令和元年5月1日現在）

センター名	面積（㎡）		構造	調理能力	給食開始	備考
	敷地	建物				
ゆりのき台 給食センター	10,660.40	1,667.00	鉄筋 コンクリート	8,000食 （日）	H. 2. 9	
清水山 給食センター	6,510.00	1,328.00	鉄筋 コンクリート	4,000食 （日）	H. 5. 9	

4 給食配送校（令和元年5月1日現在）

センター名	区分	学 校 ・ 園
清水山 給食センター  18校園	小学校	三田・三輪・志手原・小野・高平・母子・松が丘
	中学校	上野台・八景・けやき台
	幼稚園	三田・三輪・志手原・小野・母子・松が丘・高平
	県立特別支援学校	上野ヶ原
ゆりのき台 給食センター  22校園	小学校	藍・本庄・広野・武庫・すずかけ台・狭間・富士・あかしあ台・弥生・つつじが丘・けやき台・学園・ゆりのき台
	中学校	長坂・狭間・富士・藍・ゆりのき台
	幼稚園	広野・本庄・藍
	特別支援学校	ひまわり

5 学校給食費の公会計化（平成24年4月～）

平成24年4月から三田市学校給食費に関する条例を施行。これにより、学校を介さず、園児、児童や生徒の保護者などの納入者から、直接市に学校給食費を納入する公会計化を行なった。条例及び規則の制定により、給食費の債権者・債務者を明確化するとともに、給食費の額、納期限、減免等についても条文化し、透明性、利便性を確保した給食費会計を進めている。

6 令和元年度 “食べチャオさんだ！” 食育推進事業

子どもたちに食事の大切さ、喜び、楽しさを知らせ、心身の成長や健康の保持増進を図るとともに、食に関する正しい知識と望ましい食習慣の形成につなげるよう、学校・家庭・地域と連携しながら、三田市の食育を推進。

	事業項目	目的	内容	実施状況等
学校給食	1 ひとくちおしゃべりタイム(給食時間の指導)	給食を「生きた教材」として活用し、食について興味関心を持たせる。	給食センター発行の資料「こんしゅうのこんだて」を活用し、給食時間に1分間程度給食指導を行う	市立幼小中学校園の各クラス対象 年間180回以上実施 ※担任、児童生徒、校内放送等で活用
	2 「学校・園で育てた野菜」の提供	学校・園の菜園で育てた野菜を提供してもらい、学校給食の食材として活用する。	5月：玉ねぎ(ポトフ) 6月：玉ねぎ(みそ汁、キャベツのスープ・レタスのスープ) 7月：きゅうり(きゅうりとツナの和え物) 11月：さつまいも(スイートアップル)	
体験	3 給食のやさしい収穫体験	三田の食材に興味・関心を持ち、収穫の喜びを体感し、食の大切さについて考える。	(実施日) 令和元年6月30日(日) (内容) 給食で使用するトマトの収穫体験 (参加者) 19組49名の親子 (場所) 生産者圃場(中上農園)	
	4 給食センター探検隊～親子体験～(5年目)	三田の学校給食への興味関心を高める。体験を通してコミュニケーションを図る。	(実施日) 令和元年7月22日(月) (内容・参加者・場所) 【給食センター探検隊～親子体験～】 15組32名の親子 センターの見学・簡単調理・給食試食 《清水山給食センター》 【給食試食/給食センターミニ探検】 14組35名の親子 センターの見学・給食試食 《ゆりのき台給食センター》 【給食試食親子体験】 11組36名の就学前親子 ちょこっと食育・給食試食 (メニュー) 夏野菜のカレーライス 三田ポークときゅうりのマリネ 豆腐入り焼きハンバーグ 《神戸親和女子大学附属親和幼稚園》	
	5 給食試食/給食センターミニ探検(3年目)	三田の学校給食への興味関心を高める。		
	6 給食試食親子体験	三田の学校給食の理解を深め、食の大切さについて考える機会とする。		
募集	7 絵手紙コンクール(7年目)	自然豊かな三田の食材を味わう喜びや楽しさと生産者への感謝の気持ちを絵と言葉で伝える絵手紙を募集する。	(応募) 3,113作品(幼225小1,543中1,345) (審査) 令和元年10月8日 ※学校園で事前選考あり (入賞) 優秀賞5点 入選5点 佳作10点 特別賞5点 ※食育フェアにて展示 ※食育活動に活用(リーフレットに使用)	

食育啓発	8	食育フェア (第10回)	三田の学校給食の魅力や食育の大切さについて、広く市民に啓発する。 テーマ「おいしいね、食べて笑って心も元気」	(開催) 令和元年11月24日(日)10:00~15:30 (来場者数) 全体でおよそ1000人 ・体験コーナー (工作、絵手紙、ちりめんモンスター、ちょこっと給食試食) ・食を楽しむ展示 (朝ごはんチェック、食べ物つりゲーム) ・野菜と花の販売 ・食育活動や作品展示(11/20~11/28)
	9	三田の学校給食展 (7年目)	三田の学校給食と食育について理解を深め、興味関心を高めるために開催する。	(開催) 令和2年1月24日(金)~30日(木) さんだ市民センター (展示) 「むかしの給食について知ろう」、レシピ配布、昔のメニューのレプリカ展示 “食べチャオさんだ!” 食育推進事業の紹介等